[整理番号11]

事後評価書（期中の評価）

都道府県名	鹿児島県	関係市町村	阿久根市	期中評価実施の理由	④

事業名	水産物供給基盤整備事業 （ 水産流通基盤整備事業 ）		
地区名	阿久根（アクネ）	事業主体	鹿児島県

Ⅰ　基本事項

1．地区概要

漁港名（種別）	阿久根漁港（第３種）	漁場名	―
陸揚金額	1,637　百万円	陸揚量	12,698　トン
登録漁船隻数	126　隻	利用漁船隻数	296　隻
主な漁業種類	網漁業	主な魚種	いわし類，あじ類，さば類
漁業経営体数	96　経営体	組合員数	173　人
地区の特徴	本漁港は、鹿児島県北西部に位置し、県内屈指の陸揚量を誇る流通拠点漁港として第３種漁港に指定されている。また、恵まれた海域環境を活かした水産加工場等の食品製造業が盛んであり、地区人口（5,471人：令和２年港勢調査）の約10%が携わるなど、水産業が地域経済の大きな支えとなっている。		

2．事業概要

事業目的	本地区は、陸揚岸壁に屋根が整備されていないため、直射日光や降雨、鳥糞等の混入による品質低下が懸念される。また、荷さばき時の酷暑や雨天における作業が漁業従事者の負担となっている。さらに、漁港施設の一部は高潮により冠水し漁業準備作業が行えず影響が生じている。 このため、岸壁や用地の改良整備を行い、水産物の鮮度保持や漁業活動の効率性・安全性の向上を図る。		
主要工事計画	-4.0m岸壁(改良)、-6.0m岸壁(改良)、-5.0m岸壁(改良)、用地(改良)		
事業費	1,935百万円	事業期間	平成28年度～令和９年度
既投資事業費	940百万円	事業進捗率(%)	48.60%

Ⅱ　点検項目

1．費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化

	直前の評価	今回の評価	
総費用（千円）	―	1,814,896	※別紙「費用対効果分析集計表」のとおり
総便益（千円）	―	2,018,368	
費用便益比(B/C)	―	1.11	

総費用の変更の理由

事業採択時に事業評価を行っていない。

便益算定項目について変更がある場合はその項目と変更の理由

事業採択時に事業評価を行っていない。

その他費用対効果分析に係る要因の変化

事業採択時に事業評価を行っていない。

２．漁業情勢、社会経済情勢の変化

（１）漁業情勢及び漁港施設、漁場施設等の利用状況と将来見通し

計画策定後の漁業集落に関わる社会経済状況、自然状況の当初想定との相違と将来見通し

地区人口は計画策定時の5,823人(H28)から5,471人(R2)に、組合員数も201人から173人に減少傾向であるが、漁業者や北さつま漁協が主体となり自動選別機の導入による省力化の取組や地元飲食店への販促活動を行い、漁業収入の向上に努めるなど、漁業就業者確保の取組を推進し減少の抑制を図っている。

漁業形態、流通形態について当初想定との相違と将来見通し

漁業形態については、中型まき網漁業が地区取扱量の4割以上を占め、水揚げするアジ、サバ、イワシ等の加工・流通関係業者も多く、今後も大きな変化はない見通しである。

漁港施設等の利用状況について当初想定との相違と将来見通し

当初計画から利用漁船数は300隻前後、水揚量も毎年1万トン以上を維持しており、今後も大きな変化はないと予測される。

（２）その他社会情勢の変化

屋根の整備に伴い-4.0m岸壁の耐震性能を照査した結果、既設構造では安定性が確保できないことが判明したことから、耐震性能の強化を追加した等により、費用が増加した。
（参考：事業採択時）
計画期間　：平成28年度～令和7年度
計画事業費：775百万円

３．事業の進捗状況

令和3年度までに-4.0m岸壁（改良）の整備を実施しており、進捗率は48%となっている。今後は-6.0m岸壁（改良）、-5.0m岸壁（改良）、用地（改良）の整備を計画的に実施する予定である。

４．関連事業の進捗状況

北さつま漁協は水産業強化対策事業により荷さばき所内に自動選別機を導入（H31）し、鮮度保持と作業の省力化を図る取組を実施している。

５．地元（受益者、地方公共団体等）の意向

漁業者の高齢化が進むなか、水揚げ時は風雨や直射日光に晒される環境では労働者の負担が多いほか、漁獲物の鮮度低下も懸念されており、本事業の整備について強い要望がある。

６．事業コスト縮減等の可能性

各施設の設計段階において、経済性に配慮した工法選定に努めている。

７．代替案の実現可能性

漁業活動の効率性・安全性の向上を図る施設整備であり、他の施設により同様の効果を得ることは困難である。

Ⅲ　総合評価

本事業は、北薩圏域内で９割以上の水揚げを占めるなど流通拠点として重要な役割を担っている当該地区において、衛生管理の強化や就労環境の改善、漁業活動の効率性・安全性の向上を図り、流通拠点としての機能の充実を図るために、係留施設や漁港施設用地の整備を行うものである。事業の進捗率は事業費の増加により48%であるが、-4.0m岸壁(改良)の一部は完成し供用を開始するなど、計画的に推移している。
残る事業においても、産地の生産力強化を図るうえで必要不可欠な事業であり、地元要望もあがっているところである。
また、貨幣化が可能な効果について、費用対効果分析を行ったところ、１．０を超えており、経済効果についても確認されている。
以上の結果から、本事業の必要性及び経済性は高いと認められ、事業の継続は妥当であると判断された。

[整理番号11]

費用対効果分析集計表

1　基本情報

都道府県名	鹿児島県	地区名	阿久根
事業名	水産流通基盤整備事業	施設の耐用年数	50年

2　評価項目

	評価項目		便益額（現在価値化）	
便益の評価項目及び便益額	水産物の生産性向上	①水産物生産コストの削減効果	9,658	千円
		②漁獲機会の増大効果		千円
		③漁獲可能資源の維持・培養効果		千円
		④漁獲物付加価値化の効果	960,743	千円
	漁業就業環境の向上	⑤漁業就業者の労働環境改善効果	565,124	千円
	生活環境の向上	⑥生活環境の改善効果		千円
	地域産業の活性化	⑦漁業外産業への効果		千円
	非常時・緊急時の対処	⑧生命・財産保全・防御効果	482,842	千円
		⑨避難・救助・災害対策効果		千円
	自然保全・文化の継承	⑩自然環境保全・修復効果		千円
		⑪景観改善効果		千円
		⑫地域文化保全・継承効果		千円
	その他	⑬施設利用者の利便性向上効果		千円
		⑭その他		千円
	計（総便益額）	B	2,018,368	千円
総費用額（現在価値化）		C	1,814,896	千円
費用便益比		B／C	1.11	

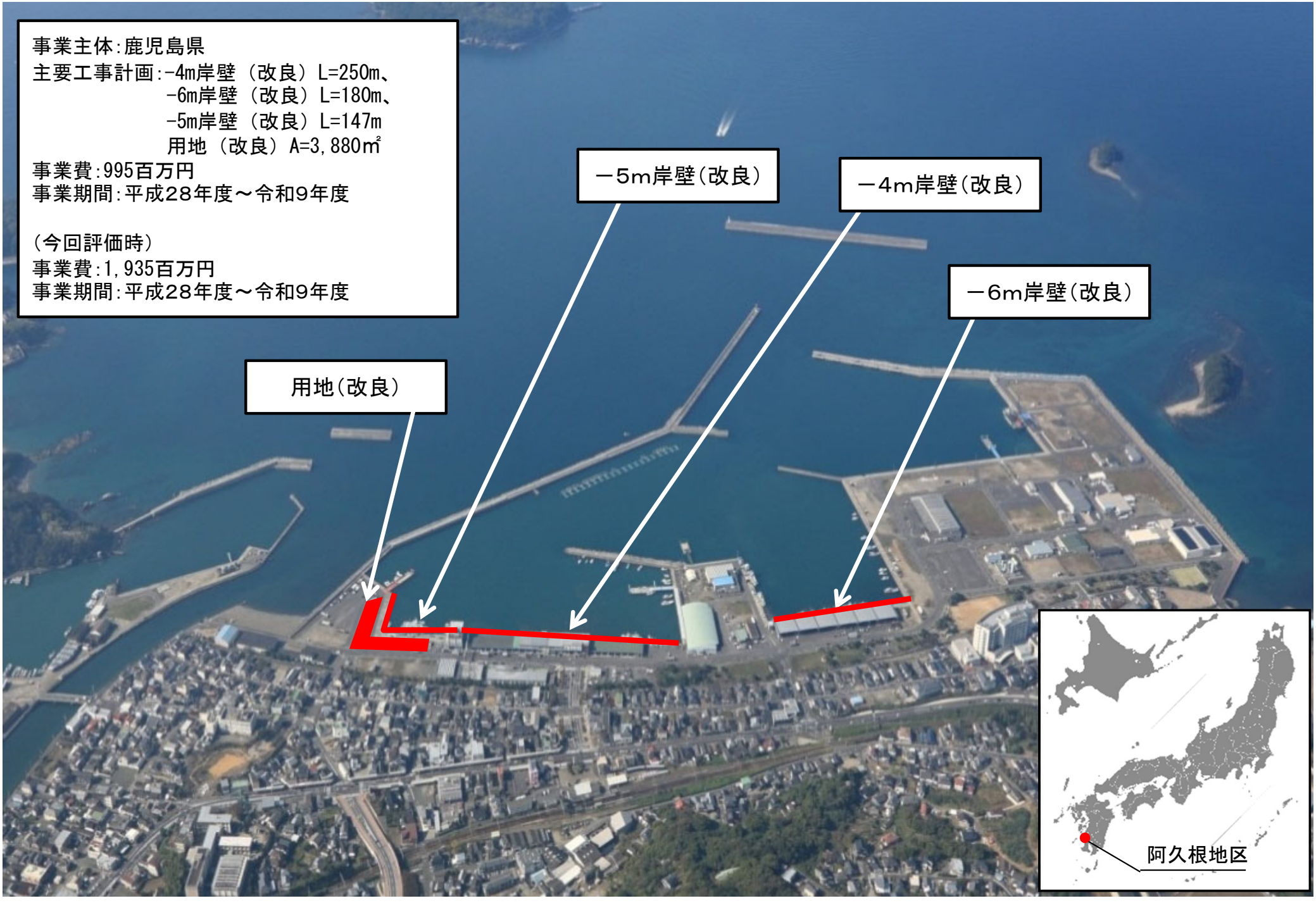
3　事業効果のうち貨幣化が困難な効果

・安心・安全な漁業活動が行われることで、漁業への就労者数向上が期待できる。

水産流通基盤整備事業　阿久根地区　事業概要図【整理番号11】

事業主体:鹿児島県
主要工事計画:-4m岸壁（改良）L=250m、
-6m岸壁（改良）L=180m、
-5m岸壁（改良）L=147m
用地（改良）A=3,880㎡
事業費:995百万円
事業期間:平成28年度～令和9年度

（今回評価時）
事業費:1,935百万円
事業期間:平成28年度～令和9年度



［整理番号11］

阿久根地区　水産流通基盤整備事業の効用に関する説明資料

１．事業概要

（１）　事　　業　　目　　的　：　本地区は、陸揚岸壁に屋根が整備されていないため、直射日光や降雨、鳥糞等の混入による品質低下が懸念される。また、荷さばき時の酷暑や雨天における作業が漁業従事者の負担となっている。さらに、漁港施設の一部は高潮により冠水し漁業準備作業が行えず影響が生じている。
　このため、岸壁や用地の改良整備を行い、水産物の鮮度保持や漁業活動の効率性・安全性の向上を図る。

（２）　主　要　工　事　計　画　：　-4.0m岸壁(改良)L=250.0m、-6.0m岸壁(改良)L=180.0m、-5.0m岸壁（改良）L=147.0m、用地(改良)A=3,880㎡

（３）　事　　業　　費　：　1,935百万円

（４）　工　　期　：　平成28年度～令和９年度

２．総費用便益比の算定

（１）総費用総便益比の総括

「水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン」（令和２年５月改訂 水産庁）及び同「参考資料」（令和４年７月改訂 水産庁）等に基づき算定

区分	算定式	数値
総費用（現在価値化）	①	1,814,896　（千円）
総便益額（現在価値化）	②	2,018,368　（千円）
総費用総便益比	②÷①	1.11

（２）総費用の総括

施設名	整備規模	事業費（千円）
-4.0m岸壁(改良)	L= 250.0m	1,540,000
-6.0m岸壁(改良)	L= 180.0m	275,000
-5.0m岸壁(改良)	L= 147.0m	75,000
用地(改良)	A= 3,880㎡	45,000
計		1,935,000
維持管理費等		55,700
総費用（消費税込）		1,990,700
内、消費税額		189,464
総費用（消費税抜）		1,801,236
現在価値化後の総費用		1,814,896

（３）年間標準便益

区分／効果項目	年間標準便益額（千円）	効果の要因
水産物生産コストの削減効果	547	・高潮対策に伴う準備作業時間の削減
漁獲物付加価値化の効果	49,346	・衛生管理面の強化による価格下落抑制効果
漁業就業者の労働環境改善効果	30,099	・猛暑，降雨対策に伴う陸上作業環境の改善
生命・財産保全・防御効果	99,308	・災害時における陸揚げの損失回避効果 ・岸壁の耐震性能強化に伴う施設被害の軽減効果
計	179,300	

（4）費用及び便益の現在価値算定表

評価期間	年度	割引率	デフレータ	費用（千円）			便益（千円）					
				事業費（維持管理費含む）	事業費（税抜）	現在価値（維持管理費含む）	水産物生産コスト削減効果	漁獲物付加価値化の効果	漁業就業者の労働環境改善効果	生命・財産保全・防御効果	計	現在価値（千円）
		①	②		③	①×②×③					④	①×④
−6	H28	1.265	1.147	21,000	19,444	28,213					0	0
−5	H29	1.217	1.117	34,200	31,667	43,047					0	0
−4	H30	1.170	1.082	137,000	126,852	160,586					0	0
−3	R1	1.125	1.053	150,000	136,364	161,539					0	0
−2	R2	1.082	1.037	298,000	270,909	303,969					0	0
−1	R3	1.040	1.000	300,000	272,727	283,636					0	0
0	R4	1.000	1.000	100,000	90,909	90,909		12,031	2,737		14,768	14,768
1	R5	0.962	1.000	150,000	136,364	131,181		12,031	2,737		14,768	14,207
2	R6	0.925	1.000	200,000	181,818	168,181		12,031	2,737		14,768	13,661
3	R7	0.889	1.000	299,800	272,545	242,292		12,031	2,737		14,768	13,129
4	R8	0.855	1.000	125,450	114,045	97,508		21,174	4,818	99,308	125,300	107,131
5	R9	0.822	1.000	120,774	109,795	90,251		49,346	30,099	85,120	164,565	135,272
6	R10	0.790	1.000	856	778	614	547	49,346	30,099	72,960	152,952	120,832
7	R11	0.760	1.000	856	778	591	547	49,346	30,099	62,537	142,529	108,322
8	R12	0.731	1.000	856	778	568	547	49,346	30,099	53,603	133,595	97,658
9	R13	0.703	1.000	856	778	547	547	49,346	30,099	45,945	125,937	88,533
10	R14	0.676	1.000	856	778	526	547	49,346	30,099	39,382	119,374	80,697
11	R15	0.650	1.000	856	778	505	547	49,346	30,099	33,755	113,747	73,935
12	R16	0.625	1.000	856	778	486	547	49,346	30,099	28,933	108,925	68,078
13	R17	0.601	1.000	856	778	467	547	49,346	30,099	24,800	104,792	62,980
14	R18	0.577	1.000	856	778	449	547	49,346	30,099	21,257	101,249	58,420
15	R19	0.555	1.000	856	778	431	547	49,346	30,099	18,220	98,212	54,507
16	R20	0.534	1.000	856	778	415	547	49,346	30,099	15,617	95,609	51,055
17	R21	0.513	1.000	856	778	399	547	49,346	30,099	13,386	93,378	47,903
18	R22	0.494	1.000	856	778	384	547	49,346	30,099	11,473	91,465	45,183
19	R23	0.475	1.000	856	778	369	547	49,346	30,099	9,834	89,826	42,667
20	R24	0.456	1.000	856	778	354	547	49,346	30,099	8,429	88,421	40,320
21	R25	0.439	1.000	856	778	341	547	49,346	30,099	7,225	87,217	38,288
22	R26	0.422	1.000	856	778	328	547	49,346	30,099	6,193	86,185	36,370
23	R27	0.406	1.000	856	778	315	547	49,346	30,099	5,308	85,300	34,632
24	R28	0.390	1.000	856	778	303	547	49,346	30,099	4,549	84,541	32,971
25	R29	0.375	1.000	856	778	291	547	49,346	30,099	3,900	83,892	31,459
26	R30	0.361	1.000	856	778	280	547	49,346	30,099	3,342	83,334	30,083
27	R31	0.347	1.000	856	778	270	547	49,346	30,099	2,865	82,857	28,751
28	R32	0.333	1.000	856	778	259	547	49,346	30,099	2,455	82,447	27,455
29	R33	0.321	1.000	856	778	249	547	49,346	30,099	2,104	82,096	26,353
30	R34	0.308	1.000	856	778	239	547	49,346	30,099	1,804	81,796	25,193
31	R35	0.296	1.000	856	778	230	547	49,346	30,099	1,546	81,538	24,135
32	R36	0.285	1.000	856	778	221	547	49,346	30,099	1,325	81,317	23,175
33	R37	0.274	1.000	856	778	213	547	49,346	30,099	1,136	81,128	22,229
34	R38	0.264	1.000	856	778	205	547	49,346	30,099	973	80,965	21,375
35	R39	0.253	1.000	856	778	196	547	49,346	30,099	834	80,826	20,449
36	R40	0.244	1.000	856	778	189	547	49,346	30,099	714	80,706	19,692
37	R41	0.234	1.000	856	778	182	547	49,346	30,099	612	80,604	18,861
38	R42	0.225	1.000	856	778	175	547	49,346	30,099	525	80,517	18,116
39	R43	0.217	1.000	856	778	168	547	49,346	30,099	449	80,441	17,456
40	R44	0.208	1.000	856	778	161	547	49,346	30,099	385	80,377	16,718
41	R45	0.200	1.000	856	778	155	547	49,346	30,099	330	80,322	16,064
42	R46	0.193	1.000	856	778	150	547	49,346	30,099	283	80,275	15,493
43	R47	0.185	1.000	856	778	143	547	49,346	30,099	242	80,234	14,843

44	R48	0.178	1.000	856	778	138	547	49,346	30,099	208	80,200	14,276
45	R49	0.171	1.000	856	778	133	547	49,346	30,099	177	80,169	13,709
46	R50	0.165	1.000	856	778	128	547	49,346	30,099	153	80,145	13,224
47	R51	0.158	1.000	856	778	122	547	49,346	30,099	130	80,122	12,659
48	R52	0.152	1.000	856	778	118	547	49,346	30,099	112	80,104	12,176
49	R53	0.146	1.000	856	778	113	547	49,346	30,099	96	80,088	11,693
50	R54	0.141	1.000	856	778	109	547	37,315	27,361	81	65,304	9,208
51	R55	0.135	1.000	856	778	105	547	37,315	27,361	70	65,293	8,815
52	R56	0.130	1.000	856	778	101	547	37,315	27,361	60	65,283	8,487
53	R57	0.125	1.000	856	778	97	547	37,315	27,361	52	65,275	8,159
54	R58	0.120	1.000	406	369	44	547	28,172	25,281		54,000	6,480
55	R59	0.116	1.000	82	75	8	547				547	63
計				1,977,800	1,801,236	1,814,896	計					2,018,368

※評価期間は、便益対象施設が複数ある場合、各施設の整備毎に効果が発生するものとして算定
※端数処理のため各項目の和は必ずしも合計とはならない。

３．効果額の算定方法

（１）水産物生産コストの削減効果

１）-5m岸壁・用地の整備に伴う網等の積込移動時間の削減

-5m岸壁や用地は高潮により冠水する状況であり，漁具積込作業に時間を要している。嵩上改良により，積込作業時間が短縮される効果を便益に計上する。

区分			備考
整備前の網の積込・移動時間（時間）	①	4	調査日：令和４年５月 調査場所：北さつま漁業協同組合 調査対象者：北さつま漁業協同組合職員 調査実施者：県職員 調査実施方法：ヒアリング調査
棒受網統数（統）	②	3	
漁船作業人数（人／回）	③	5	
高潮が影響する作業回数（回／年）	④	24	
整備後の網の積込・移動時間（時間）	⑤	3	
漁業者労務単価（円/時間）	⑥	1,520	漁業経営調査報告書(R２)
作業時間削減便益額（千円/年）	⑦	547	(①－⑤)×②×③×④×⑥/1,000
年間便益額（千円/年）		547	⑦の合計

（２）漁獲物付加価値の効果

１）衛生管理面の強化による価格維持効果

-4m岸壁，-6m岸壁に屋根を整備する事により，直射日光や降雨，鳥糞等の被害が回避され，荷さばき時における漁獲物の鮮度低下が防止でき，魚価の低下が抑制される。

区分			備考
-4m岸壁　対象魚種の年間取扱金額（税抜）（千円/年）	①	393,741	調査日：令和４年５月 調査場所：北さつま漁業協同組合 調査対象者：北さつま漁業協同組合職員 調査実施者：県職員 水揚量：(H29～R3平均) 衛生管理効果率： 平成27年度流通拠点漁港における衛生管理対策及び効果把握調査（水産庁）
イワシ類		328,360	
エビ類		65,381	
衛生管理効果率（%）	②	8	
既設荷さばき所建設費用　（税抜・デフレータ考慮）（千円）	③	700,982	
屋根建設費用　（税抜・デフレータ考慮）（千円）	④	1,437,452	
年間便益額（千円/年）	⑤	21,174	(①×②)×④/(③+④)
供用済み部分（L=140m）の年間便益額（千円/年）	⑥	12,031	⑤×140/(140+106.4)
未供用部分（L=106.4m）の年間便益額（千円/年）	⑦	9,143	⑤-⑥

区分			備考
-6m岸壁　対象魚種の年間取扱金額（税抜）（千円/年）	①	1,054,860	調査日：令和４年５月 調査場所：北さつま漁業協同組合 調査対象者：北さつま漁業協同組合職員 調査実施者：県職員 水揚量：（H29～R3平均） 衛生管理効果率： 平成27年度流通拠点漁港における衛生管理対策及び効果把握調査（水産庁）
イワシ類		1,047,580	
アジ類		7,280	
衛生管理効果率（%）	②	8	
既設荷さばき所建設費用　（税抜・デフレータ考慮）（千円）	③	498,870	
屋根建設費用　（税抜・デフレータ考慮）（千円）	④	250,000	
年間便益額（千円/年）		28,172	(①×②)×④/(③+④)

（３）漁業就業者の労働環境改善効果

１）防暑対策効果に伴う陸上作業環境の改善

-4m岸壁，-6m岸壁は屋根が無く，炎天下での荷さばき作業では熱中症にかかる恐れがあり，過酷な作業環境である。屋根を整備する事により労働環境が向上するため，便益として計上する。

区分			備考
-4m岸壁　棒受網			
1回当りの作業時間（分/回）	①	210	荷さばき1～6時間平均=3.5時間(210分)
1回当りの作業人数（人/回）	②	5	調査日：令和４年５月 調査場所：北さつま漁業協同組合 調査対象者：北さつま漁業協同組合職員 調査実施者：県職員
1日当り作業統数（統）	③	20	
年間使用回数（回）	④	180	
熱中症の警戒が必要な割合（%）	⑤	0.25	暑さ指数25度(警戒)以上の年間割合(阿久根地区H29～R3平均)(環境省)
年間延べ作業時間（hr/年）	⑥	15,750	①/60分×②×③×④×⑤
-4m岸壁　底曳網			
1回当りの作業時間（分/回）	⑦	120	荷さばき30分～3時間平均=1.8時間(108分)
1回当りの作業人数（人/回）	⑧	5	調査日：令和４年５月 調査場所：北さつま漁業協同組合 調査対象者：北さつま漁業協同組合職員 調査実施者：県職員
1日当り作業統数（統）	⑨	9	
年間使用回数（回）	⑩	105	
熱中症の警戒が必要な割合（%）	⑪	0.25	暑さ指数25度(警戒)以上の年間割合(阿久根地区H29～R3平均)(環境省)
年間延べ作業時間（hr/年）	⑫	2,363	⑦/60分×⑧×⑨×⑩×⑪
荷揚げ作業延べ時間（hr/年）	⑬	18,113	⑥+⑫
漁業労働者単価（円/hr）	⑭	1,520	漁業経営調査報告書(R２)
整備前の作業状況基準値　Bランク	⑮	1.175	労働環境改善効果の評価基準 施設整備前後の労働環境評価ﾁｪｯｸｼｰﾄ
整備後の作業状況基準値　Cランク	⑯	1.000	
年間便益額（千円/年）	⑰	4,818	⑬×⑭×（⑮-⑯）/1000
供用済み部分（L=140m）の年間便益額（千円/年）	⑱	2,737	⑰×140/(140+106.4)
未供用部分（L=106.4m）の年間便益額（千円/年）	⑲	2,080	⑰-⑱

-6m岸壁　中型巻網			
1回当りの作業時間（分/回）	①	300	荷さばき1～9時間平均=5時間(300分)
1回当りの作業人数（人/回）	②	16	調査日：令和４年５月 調査場所：北さつま漁業協同組合 調査対象者：北さつま漁業協同組合職員 調査実施者：県職員
1日当り作業統数（統）	③	22	
年間使用回数（回）	④	216	
熱中症の警戒が必要な割合（%）	⑤	0.25	暑さ指数25度(警戒)以上の年間割合(阿久根地区H29～R3平均)(環境省)
年間延べ作業時間（hr/年）	⑥	95,040	①/60分×②×③×④×⑤
荷揚げ作業延べ時間（hr/年）	⑦	95,040	⑥
漁業労働者単価（円/hr）	⑧	1,520	漁業経営調査報告書(R２)
整備前の作業状況基準値　Bランク	⑨	1.175	労働環境改善効果の評価基準 施設整備前後の労働環境評価ﾁｪｯｸｼｰﾄ
整備後の作業状況基準値　Cランク	⑩	1.000	
年間便益額（千円/年）		25,281	⑦×⑧×（⑨-⑩）/1000

（４）生命・財産保全・防御効果

１）災害時における陸揚げの損失回避効果

主要な陸揚岸壁である-4m岸壁の耐震性能強化により震災後においても陸揚が可能となり，漁業生産が維持される。

区分			備考
岸壁の年間陸揚金額(税抜)（千円/年）	①	393,741	対象岸壁水揚量（H29～R3平均）
漁業経費率（%）	②	0.463	漁業経営調査報告(R2)
１年目の休業損失額（千円）	③	193,819	①×(1-②)×11/12 ※震災１ヶ月目以降を対象とする
社会的割引率（%）	④	0.962	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン
２年目の休業損失額（千円）	⑤	101,702	①×(1-②)×④×1/2*12/12 ※１年目の復旧率を50%と想定
災害１回当りの被害軽減額（千円/回）	⑥	295,521	③+⑤
耐震性能を強化した施設が計算開始からｔ年目に機能を発揮する確率 ※ここでは、１年目の確率を示す	⑦	0.1295	$(1/7-1/75)\times(1-1/7)^{t-1}$
年間便益額（千円/年） ※ここでは、１年目の便益額を示す		38,277	⑥×⑦

２）岸壁の耐震性能強化に伴う施設被害の軽減効果

主要な陸揚岸壁である-4m岸壁の耐震性能強化により、災害発生時における施設の復旧費用の軽減効果が期待される。

区分				備考
復旧費用　（税抜・デフレータ考慮）	（千円）	①	480,321	対象岸壁の建設費
復旧期間	（年）	②	2	
１年目の復旧費用（千円）		③	240,161	①×1/2
社会的割引率（%）		④	0.962	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン
２年目の復旧費用（千円）		⑤	231,035	①×1/2×④
災害１回当りの被害軽減額（千円/回）		⑥	471,196	③+⑤
耐震性能を強化した施設が計算開始からｔ年目に機能を発揮する確率 ※ここでは、１年目の確率を示す		⑦	0.1295	$(1/7-1/75)\times(1-1/7)^{t-1}$
年間便益額（千円/年） ※ここでは、１年目の便益額を示す			61,031	⑥×⑦

施設整備前後の労働環境評価チェックシート
防暑対策効果に伴う陸上作業環境の改善

評価指標			ポイント	チェック		評価の根拠（整備前）	根拠(評価の目安)
				整備前	整備後		
危険性	事故等の発生頻度	a　作業中の事故や病気等が頻発している	3				ほぼ毎日のように事故や病気が発生
		b　過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2				直近５年程度での発生がある
		c　過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1				
		d　事故等が発生する危険性は低い	0	○	○		
	事故等の内容	a　生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3				海中への転落、漁港施設内での交通事故等
		b　一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2				転倒、資材の下敷き、落下物の危険等
		c　通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1				軽い打撲等
		d　事故等が発生する危険性は低い	0	○	○		
	危険性　小計		0～6	0	0		
作業環境		a　極めて過酷な作業環境である	5				酷寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等
		b　風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3	○		猛暑や雨の影響が大きい	風雨、波浪の飛沫等
		c　風雨等の影響を受ける場合がある	1				
		d　当該地域における標準的な作業環境である	0		○		
重労動性		a　肉体的負担が極めて大きい作業	5				人力での漁船上下架、潮位差の大きい陸揚等
		b　肉体的負担が比較的大きい作業	3	○	○	長時間の同じ姿勢での作業	長時間の同じ姿勢での作業等
		c　肉体的負担がある作業	1				車両の横付けができず運搬距離が長い
		d　通常の作業と同等程度の肉体的負担	0				
評価ポイント　計				6	3		

Aランクの条件：評価ポイント計16～13ポイント
Bランクの条件：評価ポイント計12～6ポイント
Cランクの条件：評価ポイント計5～0ポイント